

Technical NOTE

ARM Cortex-A9 1.0GHz dual-core搭載SoC VAB-630 3.5インチシングルボードコンピュータ



「VIA VAB-630 3.5" SBC」
<http://go.aps-web.jp/14-via>
QRコードアプリで最新情報をご覧ください。

Cortex-A9 1.0GHz dual-core搭載 VIA自社製SoC

VAB-630はARM® Cortex®-A9 dual-core 1.0GHzを内蔵したVIA自社製SoCを搭載しています。自社製のSoCを使用しているため、ボード上の主要部品の安定供給をコントロールし、組み込み業界で最も重要視とされている長期安定供給に関して、発売してから最低7年間の継続供給を保証します。サポートOSはAndroid 5.0、Debian 8.6(Linux kernel 3.4.5)のほかに、リアルタイムOS (OS9) も使用可能です。VAB-630は企業向けの量産目的に使用することを前提にして開発された製品ですので、国際規格のCEやFCCマークも取得しており、VAB-630を使って評価し、そのままマスタプロダクションまで持って行けます。開発期間を大幅に短縮することが可能です。

豊富な拡張性を持った I/Oインターフェイス

VAB-630はわずか14.6 x 10.2cmの超小型3.5" SBCフォームファクタでありながら、盛りだくさんのI/Oインターフェイスを設けています。ビデオ出力にはHDMI x1、LVDS x1を持って

す。そのほかUSB 2.0ホスト2ポート、OTG 1ポート、3.3VのGPIOが10個、RS-232Cが1ポート、eMMC 4GBのほかにストレージ用にMicroSD Slotも1つあります。バッテリーに接続用のpin-headerもありますので、万が一の瞬断対策もばっちりです。

IoT社会へのワイヤレスコネクション

VAB-630にオプションの3G、4G通信モジュール、Wi-Fi/BTモジュールも使用可能です。ご使用のシーンによって選択して使用できます。評価イメージにあらかじめドライバが入っていますので、通信モジュールのドライバ実装など開発作業は不要で、全体的な開発期間を短縮できます。VIAのIoTエコシステムパートナーメンバー、コネクティビティパートナーであるSORACOM社のSIMカードも動作確認を取得していますので、SORACOM認定デバイスになっています。

製品仕様

- CPU : Cortex-A9 dual-core 1.0GHz
- メモリ : 1GB DDR3 SDRAM オンボード
- ストレージ : eMMC 4GB オンボード

- I/O : HDMI x1、Single-channel LVDS x1、Micro USB 2.0 OTG x1、USB 2.0 x2、COM(Tx/Rx) x1、DIO port(10 GPIO) x1、I2C x1、Ethernet x1、MIC-in x1、Line-out x1、miniPCIe slot x1、Micro SD card slot x1
- 対応OS : Android 5.0 / Debian 8.6(Linux kernel 3.4.5) / Real Time OS(OS9)
- VIA Smart ETK : WDT、GPIO、UART
- 電源供給 : DC-in 12V
- 稼働温度 : 0~60°C
- 稼働湿度 : 0~90%@40°C (結露なきこと)
- 外形寸法 : 3.5" SBC (146 x 102mm)

【オプション品】

- 10インチタッチパネル
- EMIO-5531 USB Wi-Fi+BTモジュール
Wi-Fi: 802.11 b/g/n
BT: Bluetooth 4.0+EDR
- EMIO-2571 miniPCIe 4G通信モジュール+アンテナキット
4G: ドコモソフトバンク

【購入サイト】

スイッチサイエンス VIA特設サイト
www.switch-science.com/catalog/list/705/
エイケイジャパン VIA特設サイト
www.ei-kei.com/VIA-VAB630



VAB-630 3.5インチシングルボードコンピュータ



IoTプラットフォームSORACOMは、MVNOとしてデータ通信SIMを提供しています。

